

*String Ensemble Eternita*

弦楽合奏団 エテルニータ

第6回コンサート

*Program*



2009年6月28日(日) 14:00開演

栃木県総合文化センター サブホール

◆後援 宇都宮市教育委員会 下野新聞社 栃木放送

# プログラム Program

- 1 カプリオール組曲／ウォーロック  
*Suite for String Orchestra / Peter Warlock*
- 2 オーボエとヴァイオリンの為の協奏曲 二短調／バッハ  
*Konzert für Violine, Oboe und Streicher d-moll BWV.1060 / J.S.Bach*  
オーボエ：神永秀明 ヴァイオリン：片山淑子
- 3 アダージョとフーガ 八短調 KV546／モーツァルト  
*Adagio und Fuge c-moll KV546 / W.A.Mozart*
- 4 弦楽のためのシンフォニア第2番 二長調／メンデルスゾーン  
*Sinfonia No.2 G-Dur / F.Mendelssohn*



## プロフィール Profile

神永秀明

Hideaki Kominaga

栃木県栃木市出身 小山市在住

宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、国立音楽大学音楽学部器楽科オーボエ専攻を卒業、オーボエを青山治一・丸山盛三の各氏に師事。卒業後、デトモルト北西ドイツ音楽大学の教授で、ドイツ・パッサ・ゾリステンの主宰でもあるヘルムート・ヴィンシャーマン氏にオーボエと室内楽を師事し、その後独奏・室内楽等で演奏活動をしている。近年、30年来の友である磯部周平氏（NHK交響楽団首席クラリネット奏者）やヴァイオリンの小山敏久氏・フルートの「さかもとりえ」氏らと共に「磯部周平室内合奏団」を結成し、東京及び栃木に於いて、モーツァルトやブラームスの作品を中心に毎年定期的にコンサートを行っている。また、指揮者としても活動し、小山オペラアンサンブルでは、約10年の活動で「魔笛」「フィガロの結婚」「椿姫」「カルメン」等、代表的オペラを指揮している。オーケストラでは、自治医科大学管弦楽団、鹿沼フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を務め、栃木フィルハーモニー交響楽団の副指揮者でもある。また後進の指導も手懸け、現在 白鷗大学足利高等学校音楽科において、オーボエ・合奏・合唱・音楽史等の指導講師を務める。

※ 弦楽の為の「カプリオール組曲」

／ピーター・ウォーロック(1894～1930)

ロンドン生まれのイギリスの作曲家「ウォーロック」は「魔法使い、占い師」を意味するペンネーム。本名はフィリップ・ヘセルタイン。専門的な音楽教育を受けていないが、多くの優れた歌曲を作曲した。器楽曲は8曲と少ない。

「カプリオール組曲」は16世紀の舞曲と音楽教本「オルケソグラフィ」をもとに弦楽合奏曲にアレンジしたもの。リコーダー、ギターとオーケストラの版も作っている。

次の6つの曲から構成されている。

Iバスダンス IIバヴァーヌ IIIトゥルディオン IVブランル Vピエ・アン・レール VIマタサン

※ オーボエとヴァイオリンの為の協奏曲 二短調 BWV.1060

／ヨハン・セバスチャン・バッハ(1685～1750)

「2台のチェンバロの為の協奏曲」としても演奏されることが多く、数ある協奏曲の中でも円熟した作品の一つと言われている。自筆譜が現存していないために詳細は不明だが、「2つのヴァイオリンの為の協奏曲二短調BWV1043」(1718年)が作曲されたケーテン時代の作品であると考えられている。

第1楽章 アレグロ 第2楽章 アダージョ 第3楽章 アレグロ

※ アダージョとフーガ 八短調 KV.546

／ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～1791)

モーツァルトは1788年6月、名作交響曲「39番」KV543を完成した年にこの曲は作曲された。この5年ほど前の1783年に作曲された「2台のクラヴィーアの為のフーガKV.426を弦楽合奏用に編曲し、新たに52小節からなるアダージョの序奏を書き加えた作品である。アダージョは付点音符と複付点音符の連続する荘重な前奏である。フーガは4声のフーガで、まず主題をチェロで提示、次いでヴィオラが応答、第2ヴァイオリン、第1ヴァイオリンと次々に表れてくる。J.S.バッハを思わせる雰囲気ではあるが、謎めいた要素を持っていたと言われるモーツァルトでは、忘れられない強烈な表現力を持った作品である。

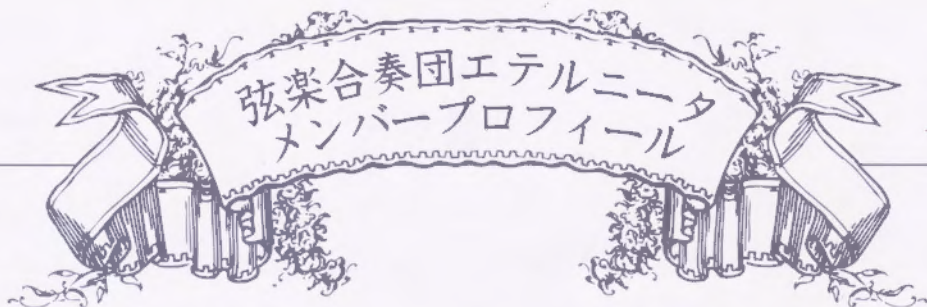
※ 弦楽の為のシンフォニア第2番 二長調

／メンデルスゾーン(1809～1847)

メンデルスゾーンは、作曲家として一流であったばかりでなく、バッハ、ヘンデルの音楽復興に先駆け、ライプツィヒ音楽院の創始者でもあり、教育者、さらにライプツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団のすぐれた指揮者でもあった。

モーツァルト同様、神童は明らかで、1821年12歳の時に書かれた12曲からなる弦楽の為のシンフォニアの一つである。急緩急の3楽章からなり、特に急速な楽章は3和音の音階を中心にした主題が用いられ、勢い良く上昇し、開始と終結にユニゾンの使用が目立っている。

第1楽章 アレグロ 第2楽章 アンダンテ 第3楽章 アレグロ



ヴァイオリン

※ 青柳敬子

宇都宮短期大学卒業。  
増田貴子、星野和夫、吉村成司、鈴木鎮一の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部ヴァイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

※ 片山淑子

国立音楽大学卒業。  
在学中、故 久保田良作氏に師事。卒業後、ソロ、室内  
楽を浦川宣也氏に師事。後進の指導にあたっている  
(札幌在住)。

※ 川俣洋子

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。  
岩本政蔵、井上武雄、鷺見健彰、鷺見四郎、石橋洋子、  
梅津南美子の各氏に師事。  
室内楽を青木十良氏に師事。  
フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽等で活動の  
他、後進の指導にあたっている。  
アンサンブル・プリランテメンバー。

※ 小松崎倫子

武蔵野音楽大学卒業。宇都宮大学大学院修了。  
故 鈴木史子、吉村成司、萩原耕介の各氏に師事。  
宇都宮市立旭中学校教諭。

※ 篠原香乃子

武蔵野音楽大学卒業。  
モダン・ヴァイオリンを、故 永岡国雄、吉村成司、星  
野和夫、掛谷洋三、桐山建志の各氏に、バロック・ヴァ  
イオリンを桐山建志氏に師事。  
後進の指導にあたる他、フリーの奏者として活動中。

※ 土屋恵子

上野学園大学卒業。  
増田貴子、吉村成司、竹内茂の各氏に師事。  
後進の指導にあたっている。

※ 福富恵子

宇都宮短期大学卒業。  
吉村成司、鷺見健彰の各氏に師事。  
柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、  
後進の指導にあたっている。

※ 山田美津子

東京都立大学卒業。  
同大学管弦楽団にて山口裕之氏の指導を受ける。  
ヴァイオリンを星野和夫氏に師事。

ヴィオラ

※ 川沼文夫

宇都宮短期大学、東京芸術大学別科卒業。  
立花和夫、吉村成司、鷺見四郎、中塚良昭、鈴木鎮一、  
豊田耕児の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部ヴァイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

チェロ

※ 荒川育子

国立音楽大学卒業。  
後進の指導にあたっている。  
室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

コントラバス

※ 増山一成

東京芸術大学卒業。  
ウィーン国立音楽大学に留学。神不可止、今村清一、江  
口朝彦、小野崎充、ルートヴィヒ・シュトライヒャー  
の各氏に師事。  
読売日本交響楽団コントラバス首席代行、  
東京ハルモニア室内オーケストラ コントラバス奏者、  
宇都宮短期大学附属高等学校音楽科非常勤講師、  
エローラアンサンブルオーケストラメンバー。

エキストラ

ヴァイオリン/※都原菜央 ※奥村りん ヴィオラ/※亀山由紀子 ※中村淑江  
チェロ/※玉川克 ※宮坂俊一郎 チェンバロ/※奥村八峰